

平成 25(2013)年度 基礎研究報告

■テーマ

道路整備に伴う居住者特性の変化の調査Ⅱ

■研究報告書 要旨

庄内地域の防災ラインとしての機能を担うべく整備されてきた「穂積菰江線」が沿道の居住者特性に与えた影響について、庄内地域の現状を踏まえて考察しています。1年目である平成24年度（2012年度）研究の結果からは、道路整備と道路周辺地区の転入者の増加に一定の関係が見られることを確認しました。

そこで2年目である平成25年度（2013年度）研究では、そうした人口移動にとって重要な条件となる「建物」に着目した分析を行っています。具体的には、豊中市全体、庄内地域、そして穂積菰江線沿道と次第に焦点を絞って建物の更新状況を比較していき、広域での状況と照らし合わせながら穂積菰江線沿道の現状を分析しています。

■研究報告書 目次



1.はじめに

2.7地域による南部地域の現状

3.人口の推移と建物更新状況から見る庄内地域の現状

4.穂積菰江線沿道の更新状況

5.おわりに

(平田)